



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2019年12月23日

発行NO 2019 - 26号

〔JRA事業（スマート畜産調査普及事業）〕

全国でシンポジウムを開催してスマート畜産の普及啓発 第4回北海道開催 と 第5回ファイナルの概要紹介

第4回北海道開催

◎ シンポジウムの概要

- ・ 開催日 令和元年9月26日（木）～ 27日（金）
- ・ 会場 ホテル グランテラス帯広
- ・ 概要 第一部 特別講演等（講演2題、事例2題）
第二部 情報交換会
第三部 現地研修会（株式会社ノベルズ）

◎ 大酪農地帯「北海道」で開催したシンポジウム「スマート畜産への期待」、全国からの参加者は約150名。



全日畜 金子春雄 理事長が参加者に開会の挨拶

◎ 特別講演は、畜産技術協会が実施した海外のスマート畜産実態調査から、酪農先進国のドイツ国とデンマーク国の調査結果について調査を担当した研究者から報告。



会場からは引切り無しの質問



講師と事例発表者もテキパキと回答

◎ 管内の酪農経営者から革新的なスマート畜産技術の導入事例について2題の事例発表があった（十勝加藤牧場、とかち村上牧場）。



◎ 発表後はモデレーターを介して、会場の参加者との意見交換。「高価な革新機材の機種選定の留意点は」、「データベース化された農場データのセキュリティは」、等々多くの質疑応答が行われた。

◎ 翌日は、全国第3位の牛の飼養頭数、道内1位の出荷乳量をほこるギガファーム「ノベルズ」を視察研修。延與社長さんから直接説明をいただきました。



現地視察のノベルズ上土幌牧場（肥育牧場）、2台の大型バスで訪問しました

（文中での団体の略称標記について）

- ・ 一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・ 協同組合 日本飼料工業会（工業会）

- ・ 一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・ 一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）

第5回 ファイナル開催

◎ シンポジウムの概要

- ・ 開催日 令和元年10月24日（木）
- ・ 会場 ホテル ポートプラザちば
- ・ 概要 第一部 特別講演会（講演2題）
第二部 事例発表会（発表2題）
第三部 情報交換会

◎ 全日畜が2年にわたって全国で開催してきたシンポジウム「スマート畜産への期待」は今回が最終回。5回の開催で延べ約700名が参加し各会場とも大盛会。



（シンポジウムの最終回を開会する全日畜の長嶋理事）

◎ 「千葉みなと」で開催した第5回シンポジウム（ファイナル）は、直近の台風被害に見舞われた地域での開催にも関わらず畜産経営者等約130名が参加。会の進行は2名のモデレーターが担当。講師と事例発表者の紹介から特別講演と事例発表がスタート。



（モデレーターの軽快な進行で）



（講師の皆様のご紹介から）

◎ 特別講演①、ドイツのスマート畜産の実態調査報告は大和田・窪田両先生。特別講演②、デンマークのスマート畜産の実態調査報告は中久保・中田両先生。関心の高いテーマに「国産との違い」「技術進度」「ビッグデータの扱い」等々について質疑応答。



（ドイツ国報告の先生方）



（デンマーク国報告の先生方）

◎ 導入事例紹介は、東林農場の搾乳ロボットと、清和畜産の養豚経営システム。酪農と養豚経営における注目機器だけに会場の参加者からの質問は多数。導入の効果やコストパフォーマンス等のほか、台風15号で電力がダウンした際の対応等に関する質問も。



（関心の高いテーマに会場からの質問はひっきりなし）



◎ 今回は、会場外のフロアーと情報交換会の会場に、最新機器を取扱う企業4社のご協力をいただき、ブースへの展示が実現。各ブースとも大盛況。出展は①搾乳ロボット、②養豚支援システム、③豚舎洗浄ロボット、④軽労化のための着るロボット。



（会場からの質問）



（展示ブースも人だかり）

（文中での団体の略称標記について）

- ・ 一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・ 協同組合 日本飼料工業会（工業会）

- ・ 一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・ 一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会（〇〇県基金協会）